

令和 3 年度「富山県中山間地域創生総合戦略」の施策評価  
 (期間：令和 2 年度～ 6 年度)

## 1 概要

施策評価は、本戦略に盛り込まれた具体的な施策について、その進捗状況及び課題を明らかにするために実施するもの

## 2 施策評価の状況

施策の進捗状況について、全 34 施策中、「概ね順調」と判断したのは 11 施策 (32%)、「概ね順調であるが、より一層の施策の推進が必要」と判断したのは 23 施策 (68%) であり、「さらなる重点的な施策の推進が必要」と判断した施策はなかった。

今後の施策の見直しの方向性について、全施策において「継続」と判断であった。

### 【施策の進捗状況】

	(観点 1) 地域のコミュニティの再生、人口の安定及び地域の保全	(観点 2) 地域経済の活性化促進、若者等の所得の増大	(観点 3) 生活に必要な不可欠なサービスの確保
概ね順調 【11 施策 (32%)】	3	7	1
概ね順調であるが、より一層の施策の推進が必要 【23 施策 (68%)】	7	8	8
さらなる重点的な施策の推進が必要 【0 施策 (0%)】	0	0	0
合 計 【34 施策】	10	15	9

### 【施策見直しの方向性】

	(観点 1) 地域のコミュニティの再生、人口の安定及び地域の保全	(観点 2) 地域経済の活性化促進、若者等の所得の増大	(観点 3) 生活に必要な不可欠なサービスの確保
継 続 【34 施策 (100%)】	10	15	9
要検討 【0 施策 (0%)】	0	0	0
必 要 【0 施策 (0%)】	0	0	0
合 計 【34 施策】	10	15	9

○施策毎の評価及び参考指標の状況 (R3.8 現在)

観点	基本的 施策	施策の基本方向 (参考指標)	施策の進捗			施策の見直し			
			概ね 順調	概ね順調 である が、より一 層の施策 の推進が 必要	さらなる 重点的 な施策 の推進 が必要	継続	要検討	必要	
<b>1地域のコミュニティの再生、人口の安定及び地域の保全</b>									
(1)住民 主体の 地域づ くり	①地域における話し合いの 促進	県による話し合い支援 地区数(累計)	○			○			
		-地区(H30) → 8地区(R1) → 11地区(R2) 【R6 目標】50地区 ※R3 18地区予定							
		②地域運営組織の整備及 び体制強化	○			○			
	地域運営組織数(累 計)	15組織(H30) → 48組織(R1) → 57組織(R2) 【R6 目標】60組織							
	地域づくりサポート人材 育成数(累計延人数)(※)	57名(H30) → 203名(R1) → 328名(R2) 【R6 目標】550名							
	③ふるさと教育・学習の推 進	○			○				
子どもの地域活動体験 率(※)	(小6)78.9%(中3)58.5%(H30) → (小6)83.0%(中3)62.1%(R1) → (小6)83.0%(中3)62.1%(R2) 【R6 目標】(小6)85%以上を維持、(中3)60%以上を維持								
(2)魅力 あふれ る地域 づくり	①地域の魅力を保全・活用 した地域づくり	里山林の整備面積(累 計)	○			○			
		2,731ha(H30) → 2,961ha(R1) → 3,184ha(R2) 【R6 目標】3,600ha							
		農村環境保全活動の 取組面積(累計)	19,889ha(H30) → 19,544ha(R1) → 19,517ha(R2) 【R6 目標】20,700ha						
	②伝統芸能等の保存・活用	○			○				
	地域文化に関するボラ ンティア活動者数(※)	13,830人(H30) → 13,880人(R1) → 13,880人(R2) 【R6 目標】14,090人							
	③空き家の適切な管理と利 活用	○			○				
空き家バンクの年間登 録件数(※)	283件(H30) → 417件(R1) → 未公表(R2) 【R6 目標】300件								
(3)新た な人の 流れの 創出	①移住・UIJ ターンの促進	○			○				
	県・市町村の移住相談窓 口を通じた移住者数(U ターン除く)(※)	726人(H30) → 734人(R1) → 764人(R2) 【R6 目標】1,000人							
	②応援(関係人口)の創出	○			○				
(4)災害 に強い 地域づ くり	①地域防災力の強化	○			○				
		自主防災組織の組織 率(※)	79.5%(H30) → 85.7%(R1) → 86.4%(R2) 【R6 目標】89.0%						
	②治山・治水・土砂災害対 策	○			○				
		土砂災害危険箇所の整 備箇所数(累計)(※)	623箇所(H30) → 627箇所(R1) → 631箇所(R2) 【R6 目標】660箇所						
地籍調査事業の進捗 率(※)	28.8%(H30) → 28.9%(R1) → 29.0%(R2) 【R6 目標】30.4%								

観 点	基 本 的 施 策	施策の基本方向 (参考指標)	施策の進捗			施策の見直し		
			概ね 順調	概ね順調 である が、より一 層の施策 の推進が 必要	さらなる 重点的 な施策 の推進 が必要	継続	要検討	必要

## 2 地域経済の活性化促進、若者等の所得の増大

(1)中山 間地農 業の活 性化	①担い手の確保・育成		○			○		
	新規就農者数(45歳未満)(※)	62人(H30) → 55人(R1) → 68人(R2) 【R6目標】60人以上						
	②生産基盤の整備		○			○		
	スマート農業の取組協 定数	—(H30) → 年2協定(R1) → 年6協定(R2) 【R6目標】年2協定						
	③競争力のある農産物や薬 用作物等の生産		○			○		
	普及に移した開発技術数 (直近5か年平均)(※)	29件(H30) → 29件(R1) → 30件(R2) 【R6目標】30件以上						
有機・特別栽培農産物 の栽培面積(※)	1,083ha(H30) → 960ha(R1) → 1,029ha(R2) 【R6目標】1,160ha							
(2)鳥獣 被害の 防止等	①野生鳥獣の適正な保護と 管理		○			○		
	イノシシ推定個体数 (※)	19,100頭程度(H30) → —(R1) → —(R2) 【R6目標】2,600頭程度						
	②被害防止策の地域ぐるみ での推進		○			○		
	イノシシによる農作物 被害額(※)	5,332万円(H30) → 8,330万円(R1) → 3,229万円(R2) 【R6目標】1,400万円以下						
③ジビエの利活用			○			○		
(3)林業 及び木 材産業 の活性 化	①担い手の確保・育成		○			○		
	林業就業者数(※)	441人(H30) → 430人(R1) → 427人(R2) 【R6目標】450人						
	②森林資源の循環利用と生 産基盤の整備		○			○		
	主伐面積「人工林」 (※)	36ha(H30) → 47ha(R1) → 48ha(R2) 【R6目標】92ha						
③県産材の安定供給体制 の整備と木材需要拡大		○			○			
県産材素材生産量 (※)	97,000 m <sup>3</sup> (H30) → 128,000 m <sup>3</sup> (R1) → 128,000 m <sup>3</sup> (R2) 【R6目標】135,000 m <sup>3</sup>							
(4)地域 の特性 を活か した事 業の振 興や就 労機会 の創出	①新たなビジネスの創出		○			○		
	②農林水産物のブランド力 強化、高付加価値化			○		○		
	農林漁業者による加工・ 直売などの6次産業化の 販売金額(※)	120億円(H30) → 109億円(R1) → 未公表(R2) 【R6目標】150億円						
	農産物を活用した新商品 開発件数(国県事業ベー ス)	7事業者(H30) → 9事業者(R1) → 9事業者(R2) 【R6目標】7事業者						
	GAPの認証取得経営体 数(※)	39経営体(H30) → 46経営体(R1) → 52経営体(R2) 【R6目標】65経営体						
直売所及びインショップ における農林水産物等 販売金額(※)	35.6億円(H30) → 35.3億円(R1) → 38.2億円(R2) 【R6目標】49億円							

観 点	基 本 的 施 策	施策の基本方向 (参考指標)	施策の進捗			施策の見直し		
			概ね 順調	概ね順調 である が、より一 層の施策 の推進が 必要	さらなる 重点的 な施策 の推進 が必要	継続	要検討	必要
		③再生可能エネルギー源 の活用		○		○		
		小水力発電所整備箇 所数(累計)	32箇所(H30) → 33箇所(R1) → 33箇所(R2) 【R6目標】39箇所					
		④人材・サテライトオフィス 等の誘致推進		○		○		
	(5)交流 による 地域活 性化	企業立地件数(※)	70件(H30) → 72件(R1) → 60件(R2) 【R6目標】68件					
		①魅力ある地域資源の磨き 上げ、観光を担う人材育成		○		○		
		②多様な交流の推進		○		○		
		農林漁業等体験者数 (延べ人数)(※)	68,199人(H30) → 70,005人(R1) → 20,850人(R2) 【R6目標】72,200人					
<b>3 生活に必要不可欠なサービスの確保</b>								
(1)交通 手段の 安定的 な確保	①生活道路の整備	改良済みの道路延長 (累計)(※)	2,213.7km(H30) → 2,216.1km(R1) → 未公表(R2) 【R6目標】2,217.9km					
		②総合的な地域公共交通 体系の構築		○		○		
	③地域公共交通ネットワー クの維持活性化	バスの利用回数(県民 1人あたり)(※)	9.3回(H30) → 9.0回(R1) → 6.8回(R2) 【R6目標】9.7回					
		④地域ニーズに対応した公 共交通サービス		○		○		
	(2)日 常 生活を支 えるサー ビスの確 保や取 組の推進	①買い物支援サービスの推 進		○		○		
②除排雪の推進		地域ぐるみ除排雪を推 進している地区数(※)	315地区(H30) → 321地区(R1) → 326地区(R2) 【R6目標】340地区					
(3)医 療・福 祉サー ビスの 確保	①福祉意識の高揚・地域共 生社会の推進	ケアネット活動の取組 地区数(累計)	116地区(H30) → 115地区(R1) → 115地区(R2) 【R6目標】130地区					
		②地域包括ケアシステムの 深化		○		○		
	③医療・福祉を支える専門 人材の確保	訪問看護ステーション 設置数(人口10万人 当たり)(※)	6.7事業所(H30) → 6.8事業所(R1) → 7.6事業所(R2) 【R6目標】7.9事業所					
		看護職員数(人口10 万人当たり)(※)	1,609.5人(H30) → —(R1) → —(R2) 【R6目標】1,770人以上					
		介護職員数(※)	17,849人(H30) → 19,060人(R1) → 未公表(R2) 【R6目標】20,800人					

(※)は県全体の指標